

改革行動を支援する ICT 活用と情報システム部門の役割

概要：「情報システム部門の役割について」（討議・検討）

討議：（抜粋）

- 自己紹介は省きます。（事前課題で周知の為）
- 各大学の課題や部署の役割をお願いします。
- 大学 ICT 環境の全面的な更新を計画しています。
 - ・大学の要望を聞いて戴ける会社に変更予定。
 - ・旧⇒新事業者への引き継ぎを成功させたい。
 - ・大学⇔事業者間で教育面から検討する役目。
- 他部署から見ると、何をしているか分からない。
 - ・他部署⇒業務内容、PC オタク、暇でしょ。
 - ・経営層⇒口出し難い。我が大学は高いのでは。
- 理事から部署必要性を文書で提出を求められた。
 - ・経営層⇒いらんんじゃないかと。言われた。
 - ・果たして、そうなのだろうか。本当に良いのか。
- 基幹事務システム
 - ・全てアウトソーシングしている大学もあり。
 - ・空いた時間で iPod 説明会、技術メーカーとの橋渡し。
- 学内部門との連携
 - ・委員会⇒定期的に会議（意外と聞いている）
 - ・他部署⇒要望・カスタムを汲んでほしい。
全体最適と各部要望、経費とのバランス。
Eメール、リモートサポート、触れ合う機会減少？
- 学内の要望を集めることも仕事
 - ・教員からの要望は、定期的にアンケートを実施。
⇒IT インフラ、Wi-Fi、認証基盤、eポートフォリオなど
- 職員の移動、人材レベル
 - ・職員が移動する大学もある。高度なレベルの確保。
- 全てをアウトソーシングする事（クラウドは増えてきているが）
 - ・次回更新時にシステムを理解している人が不在になる。
 - ・大学 SE がいないと大学に合った要件を選べない。
⇒更新時の引継ぎ不全。事業者の言いなりになる。
⇒コスト的バランスが大切。どこまで外出しするか。

<まとめ（プレゼン発表）>

題名：「情報システム部門の役割（必要／不要）」

経緯

- 何をしているか分からない。
- 理事からいらん（んじゃないか）と言われた。
- クラウド化の流れ。
- 外部委託の拡大。

なぜ必要か

- 教員・学生・職員のニーズの収集・把握・吟味。
- 関係委員会等との連携・調整・検討・提案。
- 職員にも、高度な専門性が必要（どう育成するか）
- 言いなりにならない。（⇒コスト面、バランス感）
- スペシャリストとゼネラリスト両方が要求される難しい部門。

結論

- 「情報システム部門は必要！」
（業務委託の企業は、業務と報酬を貰う事が最優先。
本当に大学法人運営の事を考えた立案は職員！）